

## 2008 年度学会活動報告

### (1)平成 20 年度年次総会開催の件

学会第 15 期の締め括りと、第 16 期の活動方針審議のため、平成 20 年6月8日(日)、早稲田大学(東京・高田馬場)に於いて平成 20 年度年次総会を開催した。

総会出席会員数 49 名、委任状 154 名

(議決人員 203 名/会員総数 482 名)

#### 総会議題

議題1. 平成 19 年度学会活動状況報告の件(案)

議題2. 平成 19 年度学会決算報告の件(案)

議題3. 会計監査報告の件(案)

議題4. 平成 20 年度学会活動計画審議の件(案)

議題5. 平成 20 年度学会予算審議の件(案)

上記が審議され、原案通り決定された。

また、議題審議終了後に特別講演として「財界人と経営－日本工業倶楽部のリーダーたちを中心として－」について由井常彦(文京学院大学大学院教授・三井文庫常務理事)氏の講話があった。

### (2)理事会開催の件

学会の業務運営に関する重要事項を審議決定する為、理事会を下記のごとく開催した。

(平成 20 年)

第 108 回理事会            5 月 10 日(土) 平成20年度年次総会開催準備の件

第 109 回理事会            7 月 26 日(土) 平成 20 年度年次総会総括の件

第 110 回理事会            9 月 27 日(土) 第4回経営倫理懸賞論文募集の件

第 111 回理事会            11 月 15 日(土) 第16回研究発表大会総括の件

(平成 21 年)

第 112 回理事会            1 月 24 日(土) 経営倫理シンポジウム開催の件

第113回理事会            3月23日(月) 第17回研究発表大会の統一論題および  
開催校決定の件

### (3)研究発表大会開催の件

第 16 回研究発表大会を平成 20 年 10 月 25 日(土)慶應義塾大学(神奈川・日吉)において開催した。当日は統一論題『経営倫理と利益』3本および自由論題 27 本の研究発表を終日 3 会場に分けて行った。

今回は初めての試みとして統一論題発表の後、発表者3人と聴講者間でディスカッションが展開された。

#### (4) 研究交流例会開催の件

学会員の研究情報の交流と学会活動の理解を深める交流例会を前年度に引き続き下記のごとく開催した。

第 62 回研究交流例会 東北大学大学院准教授 高浦康有 氏  
(平成 20 年 7 月 26 日) 「CSR 報告書評価と保証基準  
—東北電力 CSR レポート第三者意見を事例に—」

第 63 回研究交流例会 佐藤陽一氏、慶應義塾大学准教授 梅津光弘氏、  
雪印乳業社外取締役 日和佐信子氏、中央大学招聘講師 西藤輝氏  
日本大学大学院博士課程 遠藤梨栄氏

(平成 20 年 9 月 27 日) 「SBE 年次発表会および ISBEE 世界大会参加報告」

第 64 回研究交流例会 文教大学教授 小坂勝昭氏

(平成 20 年 11 月 15 日) 「LOHAS『思想』発展の現状とその未来  
—ポウルダーにおける「先進的実験」から学ぶ—」

第 65 回研究交流例会 企業行動研究部会 偽装分科会メンバーより

(平成 21 年 1 月 24 日) (伊澤武氏、上原利夫氏、中島悟史氏、峰内謙一氏)

「『偽』の定義、原因、発生防止について(中間報告)」

#### 国際委員会主催特別講演会(平成 21 年 3 月 26 日)

Mr. Stephen M. Wolfe:

DePaul University Wicklander 経営・職業倫理研究センター特別顧問

Dr. Regina Wentzel Wolfe:

DePaul University Wicklander 経営・職業倫理研究センター上級研究員

“The Current Financial Crisis : Causes and Ethical Dimensions”

(現下の金融危機について:原因および倫理的視点からの重大性)

#### (5) 研究部会活動報告の件

研究活動報告および今後の計画に関し研究部会活動報告にて報告。

\* 以下の部会長および登録メンバー数は平成 21 年 3 月末現在。

##### 1. 理念・哲学研究部会

部会長:村山 元理 氏 登録メンバー数:22 名

##### 2. 企業行動研究部会

部会長:上原 利夫 氏 登録メンバー数:68 名

##### 3. 監査研究部会

部会長:山脇 徹 氏 登録メンバー数:16 名

#### 4. 実証調査研究部会

部会長:中野 千秋 氏 登録メンバー数:11名

#### 5. CSR 研究部会

部会長:水尾 順一 氏 登録メンバー数:48名

#### 6. 経営倫理教育研究部会

部会長:梅津 光弘 氏 登録メンバー数:24名

#### 7. トップマネジメントの経営倫理研究部会

部会長:高橋 浩夫 氏 登録メンバー数:11名

#### (6) 地方組織活動の件

関西および中部地区研究部会の研究活動報告および今後の計画に関し研究部会活動報告にて報告。

\* 以下の研究部会長、参加数および登録メンバー数は平成21年3月末現在。

##### (Ⅰ) 関西地区研究部会

部会長:吉川 吉衛 氏 参加数:約 26名

##### (Ⅱ) 中部地区研究部会

部会長:堀田 友三郎 氏 登録メンバー数:25名

#### (7) 学会報発行の件

学会の活動状況伝達のため、学会報No.46 第49号(平成20年6月25日発行)、No.47 第50号(平成20年11月15日発行)、No.48 第51号(平成21年2月25日発行)を夫々発行し会員各位に配布した。

#### (9) 学会誌発刊の件

慶應義塾大学で開催された第16回研究発表大会での発表を中心に、本論文23本および研究ノート2本からなる『日本経営倫理学会誌第16号』を平成21年3月に発刊した。

#### (10) 国際交流推進の件

平成21年2月に第3回国際委員会を開催し、平成21年度も引き続き、情報収集と人的ネットワークの構築を進めることを基本方針として、積極的な国際交流を促進することが重要との認識で一致した。

詳細

(11) 経営倫理シンポジウム開催の件

当学会主催、経営倫理実践研究センター後援の第1回経営倫理シンポジウムを平成21年3月23日(月)早稲田大学(東京・高田馬場)において開催した。当日は「企業不祥事は何故多発するのか」をテーマに基調講演(平田雅彦氏「テーマ:見直そう石田梅岩の思想」)、企業の実践報告2社(オムロン(株)大谷秀幸氏、雪印乳業(株)脇田眞氏)および学者をパネリストとしたパネルディスカッションが行なわれた。170名の参加者があり、終日、熱心な講演と活発な議論が行なわれた。実行委員長は田中宏司(当学会常務理事・東京交通短期大学学長)氏。

(12) 第4回「経営倫理論文募集」学術部門・実践部門公募の件

「グローバル経済下の経営倫理」のテーマで第4回の論文募集を行なった。小林審査委員長他10名の審査委員各氏による厳正な審査のうえ、21年度総会後に発表および表彰を執り行う予定である。

以上